

地域医療（必修）

（期間） 2年次に1か月（4週）

（一般目標）

地域包括医療の理念を理解し、実践できるために、地域医療、在宅医療、老人医療、保険、福祉、介護の分野も含めて、臨床能力を身につけることを目標とする。

（行動目標）

1. 地域包括医療の理念と方法論

地域住民に対して共感をもち、地域包括医療の必要性を理解する。

対象地域の健康問題を把握する。

ともに働く職種の役割を理解し、協調性を保つことができる。

保険医療福祉行政を理解する。

2. 全人的アプローチ

身体・心理・社会的側面から、患者・家族のニーズを把握できる。

予防的な観点から、患者・家族のニーズを把握できる。

患者が豊かな人生を送れるように、医療のゴールを患者・家族と共に考えることができる。

以上の目標達成のための適切な面接技法や状況に応じた柔軟な対応を修得する。

3. 日常診療業務

日常診療において適切な診療、それに関する説明ができる。

基本的な医療機器が使用できる。

書類作成ができる。

4. 在宅医療

訪問診療、訪問看護、在宅緩和ケアについて理解する

※訪問診療は2年次の研修期間で0.2週経験する。

5. 介護保険への対応

介護保険制度の仕組みを理解し、そのサービスを体験する

6. 保険事業

各種検診、予防接種、健康相談に対応できる

7. 病診連携を理解する

以上の研修を国保匝瑳市民病院・国保多古中央病院・柏戸病院にて行う。

※柏戸病院で研修する場合は、在宅診療のみ匝瑳市民病院で研修を行う。

8. 一般外来研修

一般外来研修も1週間程度毛陰険する。

(週間スケジュール)

	月	火	水	木	金	土
午前	外来	外来	外来	療養病床	デイサービス	一般病棟
午後	一般病棟	病棟カンファ	一般病棟	訪問診療	リハビリ	